

駅伝優勝の感激を胸に 箱根路の晩秋を楽しむ



芦ノ湖を船行する海賊船



翌朝、箱根保養所の前で



「駅伝を讀めて」の作詞は
元東洋大理事長・勝承夫先生



箱根駅伝栄光の碑



箱根駅伝往路
ゴールの碑

今回は季節を変えて、12月5、6の両日、箱根路の「行く秋」を楽しんだ。

参加者9名は、朝、新宿駅に集合、小田急のロマンスカー（何て古い名称だろうか）で箱根湯本に向かう。

皆の胸の中には、箱根駅伝のゴール地点を見たい！あの感激を呼び戻したい！という一致した願いがあった。

箱根湯本から早速登山電車に乗り、強羅からはケーブルカーに乗り継ぎ、早雲山へ。そこからは新設された桃源台行き的大型ロープウェイに乗った。晴れていれば地獄谷が見られるはずだが、残念、霧に包まれていた。

小雨の中、芦ノ湖遊覧の海賊船に乗る。約40分、対岸の箱根町までの船旅を味わった。近くに駅伝ミュージアムがあるので、

母校の勇姿を見にいった。伝統ある駅伝の歴史を眺めると、意外と連覇する大学が多い。後日、それが現実のものとなって、東洋大学連覇！皆さん、良かったですね、うれしかったですね。

次いでバスで双子茶屋で下車、武田夫妻の道案内で宿泊先の東洋大学箱根保養所に。宿ではミニ懐石料理を満喫した。

翌日は打って変わった好天気、宿の前で写真を撮る。それにしても箱根保養所は安くて、料理も温泉もすばらしかった。

「入鉄砲に出女」の箱根の関所を見学。すっきりとした富士山も見え、心洗われる感じだ。帰りの車内では、大滝先輩から駅伝話を聞きながら無事帰宅。箱根の湯で身も心も温まった。

米津照男 (S48・経営卒)

首相官邸見学記

気分は大臣のよう



春の日がまぶしい、3月11日（木）、浦水会小幡さん企画の『首相官邸見学』を実施しました。参加者は浦水会5名、校友会6名の計11名。

厳重なチェックを経て、官邸内に入ると、そこは絵画・書・彫刻・生け花、さらに中庭まであるという空間が作られ、政治とは無縁のような、美術館のようでありました。

最後に案内していただいた、中山特別補佐官と一緒に、組閣後の記念撮影をする場所で記念撮影を行い、官邸を後に致しました。

緒方 剛 (S53・法律卒)

☆校友会会費納入のお願い☆

支部の諸活動は、校友の皆さんの会費納入による支部への交付金で運営されています。多くの校友の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

年会費／3,000円 終身会費／50,000円

会費納入の方には、校友会本部から「校友会報」他の諸案内、当支部から「支部会報」の送付や諸行事の案内をいたします。

会費納入のための振替用紙（料金受取人払い）ご希望の方は、校友会事務局（☎3946-9111）にご連絡いただけるとお送りします。

編集後記

●ここ数ヵ月間に、世界各地で大地震が多発、火山の噴火もあるなど地球的規模で異常とも思える自然災害が起こり、不安をつのらせています。「備えあれば憂いなし」の諺を実践したいものです。また、この春は気温の乱高下に戸惑いを感じている方も多いことでしょう。

●表紙にご案内したように、今年の城東支部総会・懇親会は、6月20日の日曜日です。この4月

にリニューアルオープンした「かつしかシンフォニーヒルズ」が会場です。きれいな会場、美味しかった料理でお待ちしています。お問い合わせしてお越しください。

●今号もたくさんの支部会員のご協力で発行に漕ぎつけました。厚く御礼を申し上げます。と同時に、スペースに入り切らない原稿は、独断と偏見で削除せざるを得ず、叱正を覚悟で編集しました。（山田真理子 S39・応社卒）